

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 27 年 3 月 26 日作成

事務事業名	全国消防長会・全国消防協会参画事業 <input type="checkbox"/> 実施計画事業			所属部局	消防本部	単位番号	13019
				所属課室	管理課	課長名	手塚 千広
				所属担当	管理担当	担当者名	塩沢 誠
基本政策	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款 項 目 細目 細々目
政策	06	安全な環境づくり			01	一般	09 01 01 050 05
施策	08	防災体制の充実		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業	
					<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		

事務事業の概要	事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		
	「全国消防長会」		
	全国区の消防情報の交換、消防関係法令等の調査研究、各事業推進委員会による研究及び情報提供、消防職員に対する表彰、総会等の事業への参画事業。		
	「全国消防協会」		

事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)			
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
その他負担金	212		
		計	212

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	事務事業の概要のとおり。
26年度活動内容	
27年度活動予定	事務事業の概要のとおり。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
消防組織	
消防職員	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
	消防活動に必要な知識、技術を習得できる。
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	職員の消防技術の向上、災害現場での確かつ迅速な活動の強化に繋げる。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:会議及び大会数	回
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:消防職員定数	人
イ:	
ウ:	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:資料提供部数	部
イ:	
ウ:	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:情報提供を受けた職員数	人
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	211	212	212	212	212	
		事業費計 (A)	千円	211	212	212	212	212	0
人件費	正規職員従事人数	人	人	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	時間	50	50	50	50	50	
	人件費計 (B)	千円	千円	228	228	228	228	228	0
	(A)+(B)	千円	千円	439	440	440	440	440	0
活動指標		ア:回	3.0	5.0	5.0	3.0	3.0	3.0	
		イ:							
		ウ:							
対象指標		ア:人	82.0	83.0	85.0	86.0	86.0	86.0	
		イ:							
		ウ:							
成果指標		ア:部	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		イ:							
		ウ:							
上位成果指標		ア:人	82.0	83.0	85.0	86.0	86.0	86.0	
		イ:							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和49年の陝西消防本部発足当初から加入している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	特に変化なし。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	警防、救助、救急の講習、研修の参加
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	全国消防長会・全国消防協会参画事業	所属部	消防本部	所属課	管理課
-------	-------------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 全国消防長会主催の各種研修・講習会等に職員を参加させ、全国の消防本部の状況を含めて教養等を深め、上位目的に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 職員の教養等を深める為、民間等には委ねられない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 全国区の消防情報の交換、消防関係法令等の調査研究、各事業推進委員会による研究及び情報提供、消防職員に対する表彰、総会等の事業への参画し、消防力の充実強化が図れる。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 職員を積極的に参加させることにより、全国の消防情勢に対し共有認識が持て、消防の進展につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 全国の消防本部で参加している会であり、情報交換が不可能になる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 全国消防長会会費算出基準に基づき算出しているので、削減の余地は無い。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在の事業実施方法が最小限の業務時間で最大の効果を得ている。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全国の消防本部が加入し組織している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	職員を積極的に参加させることにより、全国の消防情勢に対し共有認識が持て、消防の進展につながる。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要
全国消防長会会費算出基準に基づき算出しているので、特になし。	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度
特になし。	成果優先度評価結果 (11)
	コスト削減優先度評価結果 (6)